

斎藤裕喜氏(憲新)初当選



当選確実を受けて万歳三唱に臨む斎藤氏＝28日午前0時13分、内郷御厩町の選挙事務所

比例東北の議席獲得

この地域のために

第50回衆院選は27日、投開票日を迎え、比例東北ブロックでは立憲民主党新人で会社役員の新藤裕喜氏(45)＝社民党県連推薦＝が初当選を飾った。新たな区割りとなった福島4区(いわき市を含む浜通り全体)では7万8708票を獲得するも、あと一歩及ばなかったが、堂々の戦いを繰り広げた。

斎藤氏は27日午後11時半すぎ、内郷御厩町の選挙事務所に着し、他の選挙区の行方を見守った。そして小選挙区での惜敗率から、比例東北ブロックでの当選を確実にした28日午前0時10分すぎに、集まった支援者とともに万歳三唱を行った。東日本大震災・東京電力福島第一原発事故からの復興に加え、自らが訴えてきた超少子高齢化・人口減少に対応した政策の強化に向け、国政の舞台で活躍していくことを誓った。

斎藤裕喜氏って、どんな人？

45歳(1979年9月4日生まれ)

いわき市小島町出身

磐城高校、いわき明星(現・医療創生)大学人文学部卒業
会計事務所勤務、党の泉健太前代表公設第1秘書
現在は蓄電池製造や再生可能エネルギーの管理を手がける「福島環境研究開発」の代表取締役

泉氏の薫陶を受け、地域をくまなく地道に回ることで、たくさんの人の声を聞くことを大切にしている。

座右の銘:あらゆる事象は心の反映である

(京セラ創始者・稲盛和夫氏の言葉 何事も願わなければ始まらないという意味)

趣味:ガーデニング、サーフィン

双葉郡富岡町在住 3児の父

凛としたたたずまいで実直な人柄



「かけかえのない人たち・地域を守る、そして次世代へ」
勇気を持って地域の声を政策に反映させていく。